

---

# 第2期栃木市スポーツマスタープラン

令和5（2023）年度～令和9（2027）年度



令和5年3月

栃木市



## はじめに

本市では、スポーツを通じて市民一人ひとりが楽しく生き生きと健康な生活を送ることができるまちを目指すため、平成28年3月に「栃木市スポーツマスタープラン」を策定し、「拠点づくりと利便性向上」「きずなづくりと人材育成」「交流促進と個性発揮」「生涯元氣と情報発信」の4つを柱として、市民のスポーツ活動を支援するとともに、生涯スポーツの推進を図ってまいりました。

スポーツは、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を送るために欠かせないものであり、体力の向上や生活習慣病予防といった健康の保持増進に資するだけでなく、青少年の育成や地域コミュニティの活性化を推進するうえで重要なものとなっています。

また、昨今では、スポーツを通じた人権教育や障がいがある方への理解、国際的な目標であるSDGsの達成などに向け、スポーツの持つ力、求められる役割はますます大きくなっているとともに、「東京2020オリンピック・パラリンピック」「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開催を通して、スポーツ振興の機運が高まっています。

今回の「第2期栃木市スポーツマスタープラン」は、国の「第3期スポーツ基本計画」を参酌するとともに、県の「栃木県スポーツ推進計画2025」や本市の「第2期栃木市総合計画」及び関連する計画との整合を図ったうえで策定しており、「スポーツ施設の整備・充実」「スポーツ団体の育成・支援」「スポーツ交流の推進」「スポーツ普及の推進」を基本目標に据え、8つの基本方針とそれらを実現するための基本施策・個別施策を設定いたしました。

基本理念に掲げた「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる“栃木市”の実現」に向け、多様な形でスポーツに関わることのできる環境を整備し、生涯スポーツを推進するとともに、プロスポーツとの連携強化によるアスリートの育成と地域振興、さらには、コロナ禍で失われた人と人との絆やスポーツを通じての地域コミュニティ活性化に取り組んでまいります。計画の推進にあたりましては、市民の皆様との連携・協力して取り組むことが重要となりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本プランの策定にあたり、ご審議、ご提言をいただきました栃木市スポーツ推進審議会委員の皆様をはじめ、パブリックコメントなどにご協力いただきました市民の皆様並びに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

栃木市長 大川 秀子

## 目次

## はじめに

## 第1章 プランの概要 . . . . . 1

- 1 プラン策定の背景と目的
- 2 プランの位置付け
- 3 プランの計画期間
- 4 本プランにおけるスポーツの捉え方
- 5 SDGsとの関連

## 第2章 現状と課題 . . . . . 5

- 1 栃木市のスポーツの現状と課題
- 2 市内スポーツ施設について
- 3 アスリートの育成指導について
- 4 「東京2020オリンピック・パラリンピック」「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開催とレガシーの活用について
- 5 プロスポーツとの連携について
- 6 スポーツに関する情報の提供について

## 第3章 基本的な考え方 . . . . . 11

- 1 基本理念
- 2 基本体系図

## 第4章 基本施策における取組内容 . . . . . 14

- 基本方針1 「多様なスポーツ拠点の形成」
- 基本方針2 「スポーツ施設の整備と利活用の促進」
- 基本方針3 「スポーツを通じた地域の絆づくり」
- 基本方針4 「栃木市が誇れるアスリートなどの育成・強化」
- 基本方針5 「スポーツを活用したコミュニティの促進」
- 基本方針6 「スポーツと地域資源の活用」
- 基本方針7 「スポーツを通じた健康・生きがいづくり」
- 基本方針8 「スポーツ情報のPR活動の推進」

## 資料編 . . . . . 40

- 1 スポーツ基本法
- 2 スポーツに関する市民意識
- 3 市内公共スポーツ施設の状況
- 4 策定経過

## 第1章 プランの概要

### 1 プラン策定の背景と目的

本市では、平成28年3月に「元気はつらつスポーツコミュニティとちぎ」をキャッチフレーズに、「拠点づくりと利便性向上」、「きずなづくりと人材育成」、「交流促進と個性発揮」、「生涯元気と情報発信」の4つを基本理念とした「栃木市スポーツマスタープラン」（以下「プラン」）を策定し、市民誰もがどこでもスポーツを楽しみ、活力ある生活が送れるよう、令和4年度までの7年間を計画期間として、スポーツ施設の整備・充実、スポーツ団体の育成・支援、スポーツ交流の推進、スポーツ普及の推進などに取り組んできました。

一方、国において、平成29年3月にスポーツ基本法に基づく第2期スポーツ基本計画を策定し、スポーツ参画人口の拡大により、一億総スポーツ社会の実現に取り組んでいくことを基本計画として掲げました。スポーツを「する」「みる」「ささえる」という形で積極的にスポーツに参画し、スポーツを楽しみ喜びを得ることで、それぞれの人生を生き生きとしたものにすることを目指してきたところです。

こうした国の動向に加え、令和2年度に東京2020オリンピック・パラリンピックが開催されることなど、スポーツを取り巻く環境の変化を踏まえ、本市においてもプランの見直しと検証を行い、令和2年3月に令和4年度までを計画期間とする「栃木市スポーツマスタープラン改訂版」を策定しました。

その後、東京2020オリンピック・パラリンピックが当初より1年延期となる令和3年に開催され、令和4年度には、本県でいちご一会とちぎ国体・いちご一会とちぎ大会が開催されるなど、「する」「みる」「ささえる」の観点から、市民により身近にスポーツが浸透し、こうした大会のレガシーを活かした施策が求められています。

また、令和2年には新型コロナウイルス感染症が拡大し、3密の回避など、一人ひとりの基本的な感染対策を踏まえたスポーツ活動の推進が求められています。

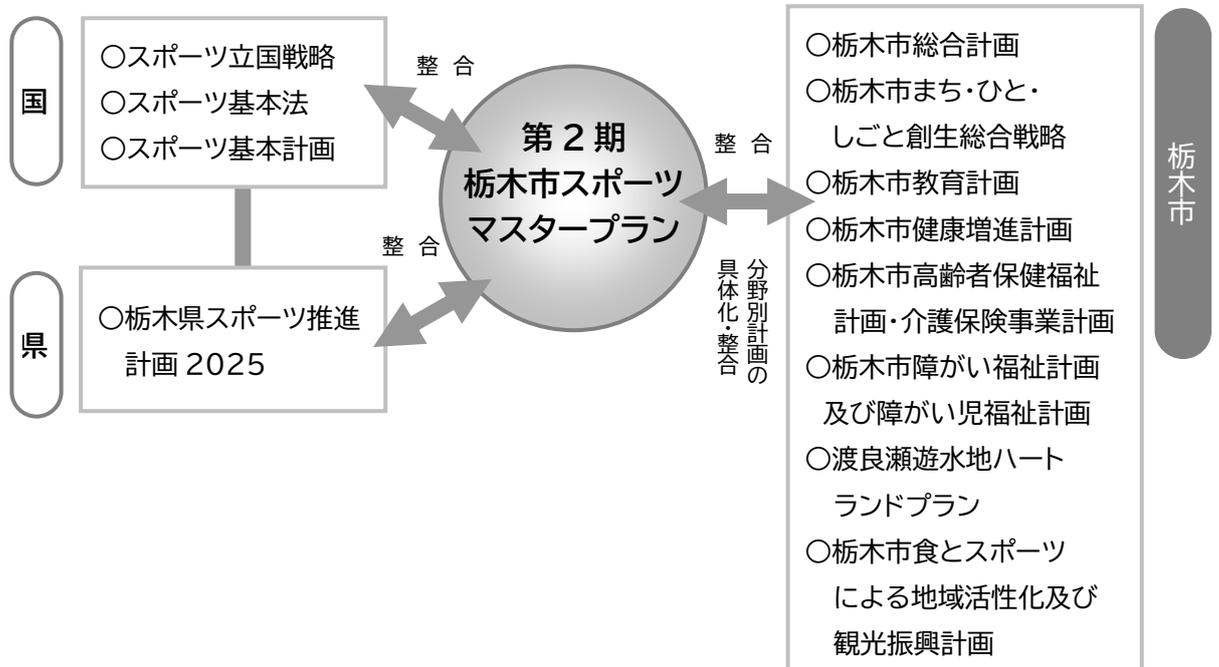
本市においても、現行プランに基づく施策としてプロスポーツの誘致・連携が進み、これらの新たなスポーツ資源と観光資源とのタイアップによる地域活性化を目指すべく令和3年3月に「栃木市食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」を策定、同年4月には市内のスポーツ拠点の整備充実のための今後10年間の施設の在り方を計画した「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」を策定し、適切な施設の維持管理を行うなど、スポーツ施策を推進してきました。

こうした状況の中、現行プランが令和4年度に計画期間の終了となることに伴い、これまでの基本方針が踏襲された国の「第3期スポーツ基本計画」や県の「栃木県スポーツ推進計画2025」を参酌し、新たに取り組む施策を踏まえ、「する」「みる」「ささえる」といった多様な形でのスポーツ人口の増加、市民総スポーツ社会の実現を目指すために、本市スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進する「第2期栃木市スポーツマスタープラン」を策定しました。

## 2 プランの位置付け

本プランは、スポーツ基本法に基づく地方のスポーツ推進計画として、国の「スポーツ立国戦略」「スポーツ基本計画」や県の「栃木県スポーツ推進計画2025」、市の「栃木市総合計画」「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「栃木市教育計画」「健康増進計画」「高齢者福祉計画」「渡良瀬遊水地ハートランドプラン」「食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」など、関連法令、関連計画と整合性を図りながら策定しました。

### ■ 関連法令・関連計画との関係図



## 3 プランの計画期間

本プランの計画期間は、令和5年度（2023年度）から令和9年度（2027年度）までの5年間とし、必要に応じて内容の見直しを行います。

#### 4 本プランにおけるスポーツの捉え方

スポーツは、スポーツ基本法において「心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養（かんよう）等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」と広く捉えており、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、すべての人々の権利」であるとされています。さらに、「スポーツ」は次代を担う青少年の体力を向上させるとともに他者を尊重しこれを協同する精神を育む等人格の形成に大きな影響を及ぼすものであり、人と人との交流及び地域と地域の交流を促進し、地域の一体化や活力を醸成するものであり、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠であるとされています。

本計画では、スポーツを陸上競技や野球のような運動競技、ウォーキングや体操などの健康・体力の保持増進を目的とした身体活動、熱気球やスカイダイビング、モータースポーツ、アスレチックなどのレジャースポーツ、散歩やレクリエーションなど気晴らしや交流を目的とした身体活動、仕事や買い物など日々の徒歩での移動や階段の昇降など健康・体力の保持増進及びフィットネスを目的とした家庭用ゲームや身体活動を伴うeスポーツ（※）まで幅広く捉えることとします。



---

（※）eスポーツ…エレクトロニック・スポーツの略。ゲーム機を使用して行う競技をスポーツ競技として捉える際の名称。

## 5 SDGsとの関連

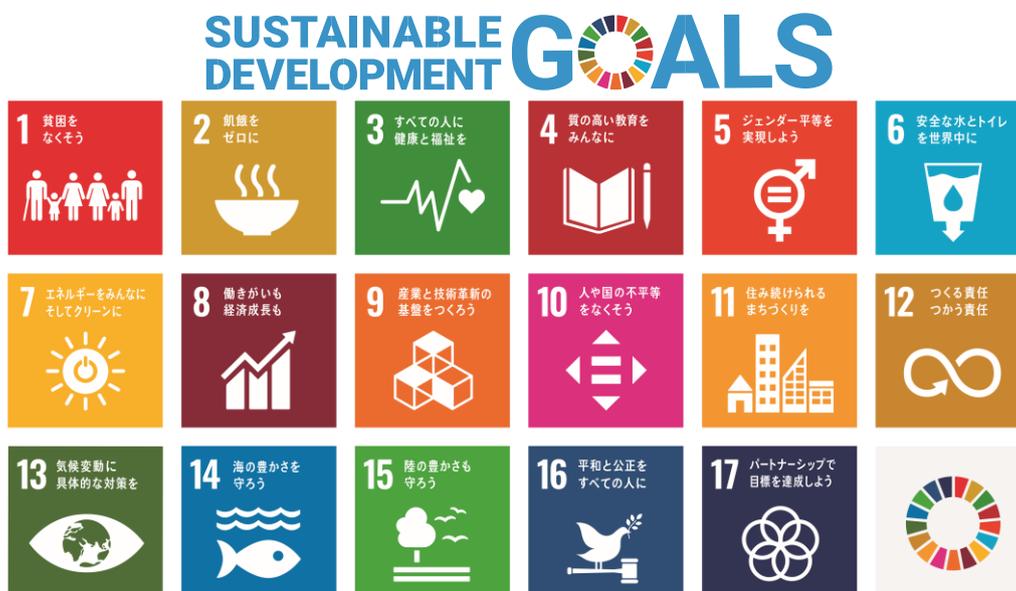
上位計画である栃木市総合計画では、SDGsの理念を取り入れ、各種施策の展開を通じて、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指すこととしています。

そこで、本計画では、SDGsが示す17ゴールのうち、「3 すべての人に健康と福祉を」「4 質の高い教育をみんなに」の目標達成を中心に取り組むものとし、スポーツを通じてSDGsの推進を図ります。

### SDGsとは

SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、2001年に策定されたミレニアム開発目標(MDGs)の後継となるものです。2015年9月の国連サミットで「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中で記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標のことです。

17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。



## 第2章 現状と課題

### 1 栃木市のスポーツの現状と課題

本市のスポーツ施策については、第1期スポーツマスタープラン（以下「1期プラン」）において、下記の8つの課題に整理し、課題解決に向けた基本方針により個別の施策を実施してきました。

#### 【1期プランにおける8つの課題と基本方針】

課 題	基 本 方 針
1 スポーツ施設などの適正かつ計画的配置	① 多様なスポーツ拠点の形成
2 市民のニーズに応じたスポーツ施設の利便性の向上	② スポーツ施設の利便性向上
3 スポーツを通じた地域コミュニティの活性化	③ スポーツを通じた地域の絆づくり
4 トップレベルの大会を見据えた競技・プロスポーツの推進	④ 栃木市が誇れるアスリートの育成
5 連携・協働によるスポーツ推進と交流促進	⑤ スポーツを活用したふれあいづくり
6 観光と連携した栃木市らしいスポーツ施策の展開	⑥ スポーツと地域資源の活用
7 ライフステージに応じたスポーツの推進	⑦ スポーツによる健康・生きがいづくり
8 市民ニーズに応じた情報発信の充実	⑧ スポーツ情報の積極的なPR・発信

2期プランでは、1期プランに掲げ進めている各施策を継続するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催など全国的なスポーツ関連潮流の変化や動向を踏まえたうえで、市民アンケートを実施し、市民意識の分析・評価を行うことで、そこから見いだされるより具体的な課題を整理することとします。

実施した市民アンケートでは、スポーツ振興を図るために必要な施策として「市民が利用しやすいスポーツ施設」が26%と一番多く、以下、「スポーツによる健康生きがいづくり」(13%)、「スポーツによる青少年育成」(12%)、「スポーツを活用したふれあいづくり」(11%)、「スポーツを通じた地域の絆づくり」(9%)、「栃木市が誇れるアスリート及び指導者」(9%)、「プロスポーツとの連携」(8%)という結果になっています。

この結果から、特に「スポーツ施設ストック適正化計画によるスポーツ施設の維持管理」「アスリート及び指導者支援」「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーの活用」「プロスポーツとの連携」「スポーツによる情報発信」などの施策及び市民意識の分析・評価を行い、2期プランの施策に反映させていくものとします。

## 2 市内スポーツ施設について

### ■現状

市内の公共スポーツ施設は、各地域に配置されており、44 施設（学校体育施設を除く。）あります。各施設の維持に多額の費用が掛かっており、一部の施設を除き老朽化の進行により、市民からは早急に整備を求める声も上がる一方、維持管理の費用が増大傾向にあることも懸念されています。そうした状況を打開するために計画的な整備及び維持管理が必要であることから、市では令和3年4月に「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」を策定し、安全性・機能性、経済性、さらには利用状況や設置環境を評価し、計画的な維持管理により、市民がスポーツに親しむことのできる施設の継続的な提供と利便性の向上を進めています。

### ■市民アンケートの結果

本市のスポーツ振興を図るために必要な施策については、「市民が利用しやすい施設」が26%で最も多く、年代別にみても全ての年代で最も多い回答となっています。

また、アスリートの育成のために必要な取組については、「スポーツ施設の充実」が21%で最も多い回答となっています。

### ■課題

スポーツ施設については、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」に基づく適正な運営・維持管理を行いながら、継続的に利便性・快適性の高い施設を提供していくことが必要です。

また、施設の管理運営について、市の直営を基本に考えつつも、指定管理者の導入や、市民や民間業者と協力しながらの管理体制の構築、さらには、国が進めているカーボンニュートラル（※）（脱炭素）に向けた取組なども視野に、市民がより利用しやすい施設になることを目指していく必要があります。

---

（※）カーボンニュートラル…二酸化炭素などの温室効果ガスの実質排出をゼロにすること。

### 3 アスリートの育成指導について

#### ■現状

アスリートの育成・指導に関連した施策では、次のような取組を行っています。

#### ①全国大会出場者激励金等給付事業

令和3年度から開始した事業で、全国大会や世界大会に出場する選手に対して、大会での活躍を支援する激励金及び全国大会等において優秀な成績を収めた選手を称える報奨金を給付する事業。

#### ②市民アスリート紹介事業

令和3年度から開始した事業で、本市出身の全国大会等で活躍するアスリートを栃木市スポーツ協会のホームページ上で紹介する事業。

#### ③スポーツ協会主催による教室・講座の開催

スポーツ協会に所属する各競技の専門部等の主催によるアスリート及び指導者育成のための教室・講座を開催。

#### ■市民アンケートの結果

本市出身の全国大会で活躍する（していた）アスリートの認知割合について、「知っている」と答えた人が31%、「知らない」と答えた方が68%という結果になりました。

また、国内外で活躍するアスリートを育成していくために必要な取組については、「スポーツ施設の充実」が21%で最も多く、以下、「指導者の育成・確保」(19%)、「総合型地域スポーツクラブの充実」(18%)、「学校の部活動の充実」(17%)、「アスリートとの交流や実技指導」(12%)となっています。

#### ■課題

本市出身のアスリートを市民に知ってもらうことは、そのアスリート本人の励みとなり、さらなる活躍が期待されるとともに、トップアスリートを目指す市民を増やすことにつながります。将来的に本市から多くのトップアスリートを輩出できるよう、現在も継続して実施しているアスリート紹介事業の充実や、アスリートと市民との交流機会提供の増加、競技人口の少ない種目にも光を当てられるような周知方法の工夫等が求められています。

また、地域の人材を活用した中学校部活動への外部指導者の派遣やプロスポーツとの連携を活かした指導者講習会などによる、新たな指導方法の導入や、既存の総合型地域スポーツクラブとの協力が必要です。

## 4 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」の開催とレガシー（※）の活用について

### ■現状

東京 2020 オリンピックでは、ハンガリー近代五種競技選手団のホストタウンとして、令和3年度にオリンピック事前キャンプの受け入れを行いました。

また、東京 2020 パラリンピックでは、本市出身の大谷桃子選手が、車いすテニス女子ダブルスの部で銅メダルを獲得したことを受け、市内への横断幕の掲示などにより市民に周知するとともにその活躍を称えたほか、レクリエーション教室などで障がい者スポーツの種目であるボッチャの普及にも努めています。

一方、いちご一会とちぎ国体は、令和4年度に本県で開催され、本市ではカヌー（スプリント）、ボート、なぎなた、ハンドボールの4競技の他、フットベースボールとタグラグビーがデモンストレーションスポーツとして開催されました。

また、全国障害者スポーツ大会であるいちご一会とちぎ大会では、フライングディスクと車いすダンスが開催されました。

### ■市民アンケートの結果

東京 2020 オリンピック・パラリンピック後の本市のスポーツに必要な取組については、「市民がスポーツしやすい環境の整備・促進」が43%で圧倒的に多く、以下、「世界的大会への出場を目指す選手の育成促進」(16%)、「トップレベルのスポーツ大会の誘致」(15%)、「障がい者スポーツの推進」(11%)となっています。

### ■課題

東京 2020 オリンピック・パラリンピック、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催後においても、トップレベルの大会を誘致し、そうした大会に参加できるアスリートの育成ができるよう施設の整備が必要です。

また、選手との交流会や開催競技の普及啓発の継続などにより、開催により醸成された機運を維持しながら、スポーツの推進をはじめ、観光分野と連携し、いちご一会国体・とちぎ大会でボート・カヌーの会場となった渡良瀬遊水地などを活かした新たな取組が必要です。

さらに、大谷桃子選手の活躍等をきっかけとした障がい者スポーツの普及を図り、施設老朽化とともにバリアフリー化未実施施設の早急な改修や、障がい者がスポーツをする機会の確保が課題です。

---

(※) オリンピック、国体レガシー…オリンピックや国体の開催が開催地にもたらす長期的かつ持続的効果のこと。

## 5 プロスポーツとの連携について

### ■現状

現在栃木市では、Jリーグ昇格を目指すプロサッカーチーム「栃木シティフットボールクラブ」が本市をホームタウンとしているほか、ルートインBCリーグに所属し、栃木県全域をホームタウンとする「栃木ゴールデンブレーブス」が市内で活動するなど、レベルの高い試合を間近に観戦できる状況が生まれています。

また、プロサイクルロードレースチーム「宇都宮ブリッツェン」の協力により、サイクルスポーツ環境の向上に向けた取組が開始され、令和4年4月には、藤岡渡良瀬運動公園内に自転車専用コースやBMX（※1）などが楽しめるパンptrラック（※2）を設置した「渡良瀬サイクルパーク」がオープンしました。

さらには、市と関係するプロスポーツチームを応援する栃木市民スポーツ応援団「Strawberry Hearts（ストロベリーハーツ）」が発足し、「私たちのチーム」として応援する環境が整備されています。

### ■市民アンケートの結果

プロスポーツとの連携に期待する効果として「栃木市の知名度向上」が27%で最も多く、以下、「試合・イベントの開催」（17%）、「スポーツ振興への協力」（14%）、「地域活動への貢献」（14%）、「青少年の育成」（12%）、「経済的な支援」（9%）となっています。

また、スポーツ観戦の際に期待するものとしては、「観戦しやすい施設」が25%と最も多く、以下、「試合のクオリティの高さ」（23%）、「地元プロ選手・プロチームの出場」（15%）、「選手との交流・ふれあう機会」（14%）、「イベントの開催」（10%）、「地元食材や材料を利用した物品販売の充実」（7%）となっています。

### ■課題

プロスポーツの活躍が本市の知名度アップにつながることを期待した意見も多くそうした活躍を市全体で応援する取組の継続と充実を図るための新たな施策の構築が必要です。

また、プロスポーツ団体と地域住民との交流機会を増やし、いかに、地元チームを「私たちのチーム」として応援してくれる市民を増やすことができるかが課題です。

さらに、「食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」の施策を推進するものとし、関係団体との協力により「スポーツ資源」「食資源」「観光資源」の連携が図れるような仕組みづくりが必要です。

（※1）BMX…バイシクルモトクロスの略。特定の自転車を使用した自転車競技及び競技で使用する自転車。

（※2）パンptrラック…自転車、スケートボード、キックボード用の起伏のある凹凸のコース。

## 6 スポーツに関する情報の提供について

### ■現状

スポーツ情報の発信は、市のホームページ、SNS、広報とちぎ、マスコミへの情報提供、コミュニティFMやケーブルテレビの利用のほか、市スポーツ協会のホームページやSNS、ポスター・チラシ、看板などにより行っています。

本市出身のアスリートの活躍などは、パブリックビューイング（※1）の開設や公共スペースを利用した横断幕の設置などにより市民に情報提供を行っています。

### ■市民アンケートの結果

本市のスポーツに関する知りたい情報については、「大会・イベントの情報」が、28%で最も多く、以下、「スポーツ施設利用者案内などの情報」（16%）、「スポーツ教室等の情報」（16%）、健康づくりのための教室・講座情報」（10%）となっています。

また、スポーツの情報の入手手段については、「インターネット」が22%で最も多く、以下、「友人・知人からの口コミ」（15%）、「テレビ・ラジオ」（15%）、「栃木市広報紙」（15%）、「公共施設でのチラシ・ポスター」（12%）、「新聞・雑誌」（10%）となっています。年齢の高い層では「広報誌」「チラシ・ポスター」「新聞」など紙媒体の割合が多くなっています。

### ■課題

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大防止による外出抑制などにより、自宅で情報を入手できるZoom（※2）やYouTubeなども新たなツールとして利用が高まっており、ネット社会で新たに生み出された様々なツールを取り入れるなど、DX（※3）を推進しながら、より多くの人にスポーツ情報を提供していく必要があります。

また、各種スポーツ関係団体の他、まちづくり支援団体、商工観光団体、福祉団体など公共的に活動する各種団体とスポーツに関する取組を行うなど、ネットワークを利用した情報提供を推進していく必要があります。

---

（※1）パブリックビューイング…スタジアムや公園の特設会場などに設置された大型スクリーンで、別の会場で行われているスポーツの試合を観戦すること。また、それを目的としたイベント。

（※2）Zoom…パソコンやスマートフォンなどを使用してオンラインでセミナーや会議を開催するために開発されたアプリケーション。

（※3）DX（デジタルトランスフォーメーション）…デジタル技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものに変革すること。

## 第3章 基本的な考え方

### 1 基本理念

『スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる“栃木市”の実現』

本市出身のアスリートや本市と連携しているプロスポーツチームが、トップレベルの大会で活躍する姿は、市民に感動や勇気を与えるほか、子供たちに大きな夢を与え、地域の誇りや一体感の醸成に繋がります。

また、市民一人ひとりがライフステージに応じてスポーツに親しむことは、心身の健康の保持・増進をはじめ、地域社会の再生や交流機会の拡大による絆づくりに寄与するなど、人生を豊かにします。

「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」や本県開催の「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」等の開催と本市出身の選手たちの活躍は、よりスポーツやアスリートの魅力をより身近に感じる機会となり、本市でもプロスポーツとの連携や市民アスリートを応援する事業が推進されるなかで、市民のスポーツへの関心はこれまでにない高まりを見せています。

これらを好機と捉え、「する」「みる」「ささえる」といったスポーツとの多様な関わりをもった、市民一人ひとりがスポーツに関わる社会を目指して、「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる“とちぎ市”の実現」を基本理念とします。

■市民スポーツフェスティバル(野球)



■県南五市対抗親善総合競技大会(バスケットボール)



## 2 基本体系図

基本目標	基本方針		基本施策
 <p>I スポーツ施設の 整備・充実</p>	①	多様なスポーツ 拠点の形成	1 スポーツ拠点施設の整備・充実
			2 学校施設や民間施設などの有効活用
	②	スポーツ施設の整備 と利活用の促進	1 市民が利用しやすい施設づくり
			2 施設の適正な維持管理の推進
			3 スポーツ施設のネットワーク化
	 <p>II スポーツ団体の 育成・支援</p>	③	スポーツを通じた 地域の絆づくり
2 スポーツ団体への活動支援			
④		栃木市が誇れる アスリートなどの 育成・強化	1 アスリートの育成・支援など
			2 競技力向上に向けたスポーツ環境の整備
			3 スポーツ指導者の育成と登録制度の活用
 <p>III スポーツ交流の 推 進</p>	⑤	スポーツを活用した コミュニティの促進	1 地域のスポーツ交流の場の確保と機会の提供
			2 オリンピック・パラリンピック及びいちご一會 とちぎ国体・とちぎ大会レガシーの活用
			3 プロスポーツとの連携による地域活性化
	⑥	スポーツと地域資源 の活用	1 スポーツツーリズムの推進
			2 トップレベルのスポーツ大会の開催・誘致
 <p>IV スポーツ普及の 推 進</p>	⑦	スポーツを通じた 健康・生きがいづくり	1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進
			2 身近なスポーツの推進
	⑧	スポーツ情報の PR活動の推進	1 スポーツ環境におけるDXの推進
			2 特色あるPR活動の推進

個別施策
●スポーツ施設ストック適正化計画による維持管理
●施設の長寿命化の推進
●学校体育施設の有効活用
●民間スポーツ施設の有効活用
●利用者の視点に立ったスポーツ施設の運営検討
●スポーツ施設のバリアフリー化の推進
●健康寿命の延伸のための運動施設の整備
●適正かつ計画的な維持管理の推進
●地域に特化したスポーツ施設のネットワーク化
●総合型地域スポーツクラブの設立・育成などの推進
●スポーツ団体などの充実と支援
●アスリートの発掘・育成・支援、紹介制度の充実
●スポーツ団体・スポーツ関連団体への支援
●指導力の向上と支援体制及び拠点の充実
●市を挙げたアスリート応援制度の充実
●スポーツ指導者の人材育成
●スポーツ指導者などの登録制度の活用
●レクリエーションスポーツの推進
●東京2020オリンピック・パラリンピック、国体レガシーの活用
●スポーツを通じた人権意識の啓発
●プロスポーツを活用した地域活性化とスポーツの推進
●スポーツツーリズムによる観光客の誘致
●地域スポーツコミッションの設立
●トップレベルのスポーツ大会の開催・誘致
●プロスポーツ観戦機会の拡大
●幼少期からの子どもの体力向上方策の推進／●小中学生のスポーツ活動の充実
●高齢者スポーツの推進／●障がい者スポーツの普及推進
●安心・安全なスポーツ活動の推進
●新たなスポーツレクリエーション活動などの支援
●魅力あるスポーツ情報の発信
●スポーツ施設使用料の電子決済システムの導入
●情報提供内容の充実
●スポーツSDGsの普及啓発



## 基本施策2 学校施設や民間施設などの有効活用

既存の地域資源を活用しながら身近なスポーツ施設を確保するため、学校や民間企業などと連携し、学校体育施設や民間企業が所有するスポーツ施設の有効活用を図る取組を継続します。

### 【取組内容】

#### 1 学校体育施設の有効活用

市内小中学校・高等学校と連携し、夜間や休日など学校が利用していない時間帯に、校庭や体育館を地域のスポーツ団体等に開放するなど、学校体育施設の有効活用を継続します。

主要事業：○学校体育施設開放事業

#### ◆指標◆

学校体育施設利用者数（年間）	現状値（R3）	目標値（R9）
		281,747人

#### 2 民間スポーツ施設の有効活用

本市をホームタウンとしているプロスポーツチームのスポーツ施設をはじめ、民間企業が所有している体育館やグラウンド、道場等を市民のスポーツ活動の場として活用する仕組みづくりを企業と連携し構築します。

主要事業：○民間スポーツ施設有効活用事業

#### ◆指標◆

民間スポーツ施設活用施設数 （※プロスポーツ施設を含む）	現状値（R3）	目標値（R9）
		1箇所



### 3 健康寿命延伸のためのスポーツ施設の整備

スポーツを通じた健康増進・体力の向上を図り、健康長寿社会の実現を目指すため、スポーツ施設内に健康遊具を設置するほか、ウォーキング・ジョギングコースを整備し、市民にPRを図ります。

主要事業：○運動公園施設整備事業【再掲】

◆指標◆

屋外に健康遊具を設置している 公共スポーツ施設数	現状値（R3）	目標値（R9）
	2施設	3施設

■大平運動公園（屋外健康遊具）



■つがスポーツ公園（ジョギングコース案内板）



■岩舟総合運動場（屋外健康遊具）



## 基本施策2 施設の適正な維持管理の推進

スポーツ施設をより効率的・効果的に運営するため、指定管理者制度による施設の民間委託や予約システムの改良を行うなど、施設の適正管理や利便性の向上の取組を継続します。

また、施設を長く維持できるよう、スポーツ施設及び学校開放利用調整会議で、直接利用している市民の意見を聴取し把握するとともに、使用者の理解と協力を図ります。

さらに、施設の有効利用を図るため、使用日程の調整をしながら、各使用団体との交流を図ります。

### 【取組内容】

#### 1 適正かつ計画的な維持管理の推進

スポーツ施設ストック適正化計画に基づき、適正かつ計画的な維持管理を推進するとともに、スポーツ団体、NPO、ボランティアなどと連携しながら、地域の要望に合った効率的な維持管理に努めます。

主要事業：○体育施設共通管理事業【再掲】      ○運動広場管理委託事業  
 ○公共施設予約システム事業

### ◆指標◆

スポーツ施設ストック適正化計画 における施設の長寿命化工事件数 【再掲】	現状値（R3）	目標値（R9）
	2件	14件

#### ■栃木市総合運動公園（硬式野球場）



#### ■藤岡渡良瀬運動公園



### 基本施策3 スポーツ施設のネットワーク化

市有施設や市内のスポーツ拠点施設などをスポーツの視点でつなぎ、ネットワーク化を図ることで、市全体が活性化する取組を行います。

#### 【取組内容】

#### 1 地域に特化したスポーツ施設のネットワーク化

市を縦断するサイクリングルートに合わせ、大平地域のさくら球場、岩舟地域のサッカースタジアム、藤岡地域のサイクルパークなどのスポーツ施設と既存の市有スポーツ施設とのネットワーク化を推進します。

また、これらのスポーツ施設や渡良瀬遊水地におけるスカイスポーツ、ウォータースポーツの情報等を盛り込んだ施設マップを作成し、施設情報のネットワーク化により、施設利用者の利便性の向上を図ります。

主要事業：○（新）スポーツ施設マップ作成事業

#### ◆指標◆

スポーツ施設マップの作成	現状値（R3）	目標値（R9）
	—	作成

#### ■渡良瀬遊水地熱気球（係留）



#### ■CITY FOOTBALL STATION



**基本方針3 スポーツを通じた地域の絆づくり**



**基本施策1 総合型地域スポーツクラブの設立・育成**

地域に根ざしたスポーツ活動を促進し、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化を図るため、多様多世代型の総合型地域スポーツクラブの設立や育成を支援します。

併せて、誰もが気軽に参加できるように、新規会員の加入促進支援を継続します。

**【取組内容】**

**1 総合型地域スポーツクラブの設立・育成などの推進**

総合型地域スポーツクラブが活動していない地域への新たなクラブの設立支援とともに、既存の団体を含めた育成支援を推進します。

主要事業：○総合型地域スポーツクラブ設立・育成支援事業

**◆指標◆**

総合型地域スポーツクラブ数	現状値（R3）	目標値（R9）
	3クラブ	6クラブ

総合型地域スポーツクラブ加入者数	現状値（R3）	目標値（R9）
	851人	1,870人

**■総合型地域スポーツクラブの一覧**

**【令和3年度】**

No	クラブ名	設立年度	会員数
1	NPO 法人栃木スポーツネット	平成19年4月	488
2	あいあいクラブ都賀	平成20年6月	152
3	いわふねスポーツクラブ	平成23年4月	211
合計			851

## 基本施策2 スポーツ団体への活動支援

市民が気軽にスポーツや健康づくりなどに取り組む環境を整備するため、各種スポーツ団体などへの活動支援を継続します。

行政と地域のパイプ役となるスポーツ推進委員においては、地域で行う各種プログラムなどのマネジメントや指導を地域のリーダーと共に組織的に行うことにより、地域スポーツの推進を図ります。

また、スポーツ協会については、それぞれの種目の競技人口の拡大を目指し、自らがスポーツ活動の実施主体者となるとともに、プロスポーツをはじめ各種関係団体と連携を図りながら、多くの市民がスポーツに参加できるよう努めます。

### 【取組内容】

#### 1 スポーツ団体などの充実と支援

各種スポーツ団体などの活動に必要な情報提供を充実させるとともに、団体間の交流を促進することで、活動の活性化や組織の育成支援・ネットワーク化を図ります。

主要事業：○総合型地域スポーツクラブ設立・育成支援事業【再掲】  
○スポーツ団体補助事業

### ◆指標◆

市及び市スポーツ協会主催 スポーツイベント参加者数	現状値（R3）	目標値（R9）
	25,007人	75,000人

スポーツ大会・教室への 市民満足度	現状値（R3）	目標値（R9）
	72.0%	85.0%

#### ■市スポーツ推進委員会研修会（カローリング）



#### ■市スポーツ協会評議員会





## 2 スポーツ団体・スポーツ関連団体への支援

栃木シティフットボールクラブ（サッカー）、栃木ゴールデングレイブス（野球）、宇都宮ブリッツェン（自転車）など、栃木市を活動拠点としているプロスポーツチームやスポーツ団体の支援に努めます。

また、スポーツ推進に関する活動に取り組むスポーツ関連団体の活性化や認知度の向上を図るため、栃木市スポーツ推進委員、栃木市スポーツ協会などへの支援の充実を図ります。

主要事業：○プロスポーツ連携事業      ○スポーツ団体補助事業【再掲】

### ☆栃木市を活動拠点とするプロスポーツチームのエンブレム

#### ■栃木シティフットボールクラブ



#### ■栃木ゴールデングレイブス



#### ■宇都宮ブリッツェン



## 基本施策2 競技力向上に向けたスポーツ環境の整備

スポーツ選手の技術や能力を効果的に向上させるため、スポーツ指導者の確保・育成や市民が一体となって応援する体制・仕組みづくりなど、競技力向上に向けたスポーツ環境づくりを継続します。

また、子どもの体力向上を図るため、幼児期から運動に慣れることを含めて、学校、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団など、様々な主体により、子どもたちが身体を動かす機会の充実に努めます。

加えて、国際大会などに出場し、優秀な成績を収めたチーム・選手などに対して激励するとともに表彰することで、競技者の意欲の向上を図ります。

### 【取組内容】

#### 1 指導力の向上と支援体制及び拠点の充実

学校における運動部活動や競技スポーツにおける指導力を向上させるため、スポーツ団体や学校と連携しつつ、スポーツ医科学を取り入れながら、スポーツ指導者の育成に努めます。

また、国・県が実施する未来アスリート育成事業等の普及啓発を行い、未来を担うトップアスリートの掘り起こしを行います。

主要事業：○スポーツ指導者育成事業  
○（新）スポーツリーダーバンク事業【再掲】

#### 2 市を挙げたアスリート応援体制の充実

スポーツ選手・団体の意欲や市民の認知度を高めるため、全国大会や世界大会に出場する選手・団体に対し激励金・報奨金を給付するとともに、全国大会等において優秀な成績を収めたスポーツ選手・団体を表彰します。

主要事業：○スポーツ顕彰制度(市スポーツ協会)  
○スポーツ選手・指導者等顕彰事業  
○スポーツ大会出場者激励金等給付事業

### ◆指標◆

スポーツ大会出場者激励金等 給付件数（累計）	現状値（R3）	目標値（R9）
	130件	1,000件



**基本方針5 スポーツを活用したコミュニティの促進**

**3**  
すべての人に  
健康と福祉を  


**5**  
ジェンダー平等を  
実現しよう  


**9**  
産業と技術革新の  
基盤をつくろう  


**12**  
つくる責任  
つかう責任  


**基本施策1 地域のスポーツ交流の場の確保と機会の提供**

地域コミュニティ活動の一環として、地域住民がスポーツを通じて楽しむことができるようにするため、身近で地域に密着したスポーツ交流の場の確保と整備及び機会の提供を継続します。

また、地域・学校・企業の連携によるスポーツイベントを開催し、地域間交流・世代間交流を図り、スポーツによる地域振興に努めます。

**【取組内容】**

**1 レクリエーションスポーツの推進**

地域住民がスポーツを通じて交流できるよう、各種スポーツ大会・レクリエーション・健康体力づくりなどを開催します。

また、総合型地域スポーツクラブの活動の充実、スポーツ推進委員をはじめとする地域スポーツの指導者の育成を図り、参加者同士の交流の場を確保し、地域コミュニティの輪が広がるよう努めます。

○スポーツ大会開催委託事業	○地域運動広場整備事業
○スポーツ指導者育成事業【再掲】	○生涯スポーツ振興事業

**◆指標◆**

レクリエーションスポーツ教室 (出前講座)の開催件数	現状値 (R3)	目標値 (R9)
	10 件	15 件

■レクリエーションスポーツ



■小学校タグラグビー講習会



## 基本施策2 オリンピック・パラリンピック及びいちご一会国体・とちぎ大会レガシーの活用

東京2020オリンピック・パラリンピック及びいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーを継承し、「する」「みる」「ささえる」といったスポーツと関わる機会の充実を図ります。

また、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合う「心のバリアフリー」を推進することで共生社会の実現を目指します。

### 【取組内容】

#### 1 東京2020オリンピック・パラリンピック、国体レガシーの活用

東京2020オリンピック・パラリンピックやいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催によって高まった市民のスポーツへの関心を持続させるため、開催後も関係諸団体との連携によるスポーツイベント等を開催し、レガシーの活用を図ります。

また、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会を契機に整備された施設等の活用や各種研修会の充実を図ることで、スポーツ推進委員をはじめとするボランティアのさらなる質の向上につなげます。

主要事業：○スポーツ大会開催委託事業【再掲】

#### ◆指標◆

スポーツ推進委員を対象とした 研修会開催件数	現状値（R3）	目標値（R9）
	10件	15件

#### 2 スポーツを通じた人権意識の啓発

フェアプレー精神や相手への思いやり、チームワークや支援・協力者への感謝など、スポーツを通じた人権啓発を推進するとともに、持続的な共生社会の実現に向け、スポーツ団体における女性役員の登用を進めます。

さらに、障がいまたは障がい児者に対する理解の促進と障がい者スポーツの認知度の向上を図り、スポーツに参加する人口の拡大に努めます。

主要事業：○人権啓発事業 ○障がい者スポーツ振興事業

**基本施策3 プロスポーツとの連携による地域活性化**

市内で活動し、市と連携協定を締結しているプロスポーツチームの市民への浸透や交流の促進、ファンやサポーター数の増加を図るとともに、「食とスポーツによる地域活性化及び観光振興計画」（令和3年3月栃木市策定）による食資源・観光資源と融合したプロスポーツの観戦やスポーツイベントの開催により地域活性化を図ります。

**【取組内容】**

**1 プロスポーツを活用した地域活性化とスポーツの推進**

官民一体となって市内プロスポーツチームの情報発信を強化し、サポーターや市民応援団（ストロベリーハーツ）の加入促進を図ります。また、試合観戦をはじめ、選手による体験教室や交流会、専用スタジアムを会場とした市民スポーツイベントを開催するなど、プロスポーツに触れる機会を提供することで、地域活性化と市民スポーツの普及を図ります。

主要事業：○プロスポーツ連携事業【再掲】 ○スポーツ大会開催委託事業【再掲】

**◆指標◆**

栃木市市民スポーツ応援団 （ストロベリーハーツ）加入者数	現状値（R3）	目標値（R9）
	490人	12,000人

プロスポーツチームと連携した スポーツイベントの開催数	現状値（R3）	目標値（R9）
	不定期	定期開催 （年1～2回）

■ストロベリーハーツ（ロゴマーク）



■栃木シティフットボールクラブ



☆いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の様子

■ハンドボール競技



■なぎなた競技



■ボート競技



■カヌー競技



■フライングディスク



■車椅子ダンス



■タグラグビー



■フットベースボール



<p><b>基本方針6</b> スポーツと 地域資源の活用</p>	<p>8 働きがいも 経済成長も</p> 	<p>9 産業と技術革新の 基盤をつくろう</p> 	<p>11 住み続けられる まちづくりを</p> 	<p>12 つくる責任 つかう責任</p> 
---------------------------------------	--	--	--	---

**基本施策1 スポーツツーリズムの推進**

栃木市らしいスポーツツーリズムの推進に向けて、豊かな自然環境や利便性の高い交通環境、観光地としての特性などを活用しながら、市外からのスポーツイベント参加者に飲食や観光情報を提供するとともに、観光と連携したスポーツイベントやプロスポーツチームと連携した競技体験などの誘致・開催に努めます。

また、スポーツツーリズムの実践のため、プロスポーツ団体や観光団体等と連携し、地域活性化に取り組む組織である「地域スポーツコミッション」を設立します。

**【取組内容】**

**1 スポーツツーリズムによる観光客の誘致**

市内で活動するプロスポーツチーム等と連携を図り、プロによる解説付きの試合や競技体験のできる観戦ツアーの開催等、スポーツによる本市へ誘客を推進します。

また、ウォーキング大会や渡良瀬遊水地でのスカイスポーツ、ウォータースポーツ体験などの際に、飲食や宿泊、観光体験を融合することで、再訪者（リピーター）の増加を図るとともに、市民や来訪者による本市の魅力発信機能を強化し、新たな観光客の獲得を目指します。

主要事業：○ウォーキング大会開催事業 ○渡良瀬遊水地活用促進事業	○プロスポーツ連携事業【再掲】 ○熱気球観光振興事業
-------------------------------------	-------------------------------

**◆指標◆**

市外からの誘客を目的とした スポーツ大会・イベント数	現状値（R3）	目標値（R9）
	3件	5件

## 2 地域スポーツコミッションの設立

スポーツ大会やイベント、合宿などの誘致、スポーツを通じた交流促進等による地域活性化と市外からの誘客を図るため、市とスポーツ団体、観光団体、民間団体等が連携し、官民一体となって地域のスポーツ振興やスポーツツーリズムの推進に取り組む地域スポーツコミッションを設立し、スポーツによる持続的な地域活性化活動を行います。

主要事業：○（新）地域スポーツコミッション創設支援事業

### ◆指標◆

地域スポーツコミッションの設立	現状値（R3）	目標値（R9）
件数	—	1件

### ■ウォーキングイベント（ふるさと見にウォーキング）



### ■渡良瀬スカイスポーツ（スカイダイビング）



### ■渡良瀬ウォータースポーツ（カヌー）



## 基本施策2 トップレベルのスポーツ大会の開催・誘致

多くの市民が、スポーツを観て楽しむとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック及びいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催によって高まったスポーツへの関心をさらに深められるよう、トップレベルのスポーツ大会・イベントなどの誘致・開催や関連する合宿の誘致などを継続します。

### 【取組内容】

#### 1 トップレベルのスポーツ大会の開催・誘致

スポーツ選手・団体やスポーツ観戦客などを市外から呼び込み、地域経済の活性化を図るとともに、市民のスポーツへの関心を高めるため、トップレベルのスポーツ大会・イベントなどの開催・誘致に努めます。

また、大会開催と併せて、スポーツ体験、飲食体験、観光体験を融合し、本市の魅力を向上させることにより、来訪者の増加を図ります。

主要事業：○渡良瀬バルーンレース開催事業

#### ◆指標◆

トップレベルのスポーツ大会・イベント開催件数（国体を除く）	現状値（R3）	目標値（R9）
	1件	3件

#### 2 プロスポーツ観戦機会の拡大

プロの技を間近に観ることで感動し、スポーツへの関心を更に深められるよう、市内で活動するプロスポーツチームを中心に、試合情報や市民デーの設定による観戦招待などを実施し、多くの市民にプロスポーツ観戦ができる機会を創出します。

主要事業：○プロスポーツ連携事業【再掲】

#### ◆指標◆

プロスポーツ試合開催数	現状値（R3）	目標値（R9）
	19回	27回

■渡良瀬バルーンレース



■栃木シティフットボールクラブ



■栃木ゴールデンブレーブス



■宇都宮ブリッツェン



**基本方針7 スポーツを通じた  
健康・生きがいづくり**

3 すべての人に  
健康と福祉を



4 質の高い教育を  
みんなに



10 人や国の不平等  
をなくそう



**基本施策1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進**

スポーツを通じて、市民のだれもが気軽に健康づくりや体力づくり、生きがいづくりなどに取り組むことができるよう、子どもや大人、高齢者や障がい者など、ライフステージや市民のニーズに応じた、多様なスポーツ活動の推進を継続します。

また、スポーツにおける安全性を確保し、スポーツ事故の防止・軽減を図るため、スポーツ医科学などの講習会の開催や専門的な知識・技能を持った外部指導者・関係機関との連携を図ります。

さらに、コロナ禍におけるスポーツ活動を推進するため、基本的な感染症対策や熱中症対策を講じ、各種ガイドラインに準じた活動の徹底を図ります。

**【取組内容】**

**1 幼少期からの子どもの体力向上方策の推進**

子どもの体力・運動能力向上のため、身近な外遊びやスポーツを通じて、日常的にスポーツに取り組む習慣や「走る」「跳ぶ」「投げる」などの基本動作を身に付けるなど、生涯にわたってスポーツを楽しむための基礎づくりを推進します。

主要事業：○体力向上推進事業    ○少年スポーツ振興事業【再掲】

**2 小中学生のスポーツ活動の充実**

学校体育や部活動・クラブ活動を通じて、体力・運動能力の向上を図り、スポーツに取り組む姿勢を育むとともに、専門的知識を有する外部指導者と連携することにより、児童生徒がスポーツの楽しさやできる喜びを感じる機会を創出します。

また、中学校運動部活動の段階的な地域移行が検討されていることから、関係団体との協議により地域におけるスポーツ機会の確保を図ります。

主要事業：○部活動指導員配置事業

**◆指標◆**

スポーツ指導員登録数【再掲】	現状値（R3）	目標値（R9）
	—	50人



## 5 安心・安全なスポーツ活動の推進

スポーツ活動における安全性を確保するため、とちぎメディカルセンターしもつがスポーツ健康科をはじめとする市内医療機関との連携によるスポーツ医学の活用を図るとともに、事故・怪我防止に関する必要な知識・技術の習得を行うなど、スポーツ事故の防止に努めます。

また、コロナ禍におけるスポーツ活動の継続のため、基本的な感染症対策や熱中症対策を徹底するとともに、日本スポーツ協会が作成した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」や競技団体別のガイドライン等を遵守し、安心・安全な活動、持続可能な活動を行うよう周知・啓発します。

さらに、新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化から生じた運動不足に対応するため、リモートによる体操教室の開催などDXを活用するとともにスポーツをする機会の提供を推進します。

主要事業：○スポーツ協会事業【再掲】      ○スポーツ推進委員会事業【再掲】

### ◆指標◆

スポーツ推進委員を対象とした 研修会開催件数【再掲】	現状値（R3）	目標値（R9）
	10件	15件

### ■学童野球大会



### ■グラウンド・ゴルフ大会



### ■感染症・熱中症予防ポスター



## 基本施策2 身近なスポーツの推進

市民が気軽に取り組みやすい運動であるラジオ体操やウォーキングの普及を図るとともに、健康マイレージ事業（※）とタイアップしたスポーツイベントや各種スポーツ教室等の実施により、健康づくりあるいは生活習慣病予防として、自主的かつ積極的にスポーツに参加する意識の醸成を図ります。

### 【取組内容】

#### 1 新たなスポーツレクリエーション活動などの支援

年齢や性別に関わらず市民のだれもが気軽に参加でき、スポーツを通じたコミュニケーションにより、世代や地域を超えた交流の場となるスポーツレクリエーション活動の支援に努めます。

特に、いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会に合わせ実施されたデモンストレーションスポーツの認知度を高め、地域に根ざしたスポーツレクリエーション活動となるよう普及啓発を推進します。

主要事業：○スポーツ大会開催委託事業【再掲】 ○生涯スポーツ振興事業【再掲】

### ◆指標◆

レクリエーションスポーツ教室 (出前講座)の開催件数【再掲】	現状値 (R3)	目標値 (R9)
	10件	15件

#### ■体育祭 (都賀地域)



#### ■健康マイレージ事業

**令和4年度 栃木市健康マイレージ**

**栃木市健康マイレージとは？**  
市民の特定健診やがん検診の受診率向上、健康づくりやボランティア活動参加のきっかけづくりを目的とした事業です。事業に参加し、ポイントを貯めて記念品を手に入れましょう。

**対象** 20歳以上の全市民

**参加方法** 【年度内お一人様1回です】  
下記のポイントカードを使って

**実施期間**  
令和4年3月1日  
～  
令和5年2月28日

**15ポイント**  
以上貯めてください。

※令和4年3月1日までに40ポイント以上貯めると記念品がもらえます。

(※) 健康マイレージ事業…市民の特定健診やがん検診の受診率の向上、健康づくりやボランティア活動への参加を目的とした事業。

## 基本方針8 スポーツ情報のPR活動の推進



### 基本施策1 スポーツ環境におけるDXの推進

スポーツ環境におけるDXの推進として、市民のニーズにあわせ、わかりやすく、魅力あるスポーツ情報を発信・提供するため、スポーツ情報提供ネットワークの見直しを行うとともに、さらなる拡充に努めます。

また、YouTube ライブを使った周知を取り入れ、映像等によるスポーツ情報の周知などを進めます。さらに、スポーツ施設利用予約システムの充実や使用料に係る電子決済システムの導入など利用者の利便性向上を図ります。

#### 【取組内容】

#### 1 魅力あるスポーツ情報の発信

市民やスポーツ団体などが必要とする情報を、いつでも、どこでも、わかりやすく提供するため、魅力あるスポーツ情報の発信に努めます。

また、新型コロナウイルス感染症対策で活躍したYouTube ライブを使った周知を取り入れ、映像を用いた情報の発信等、市民がわかりやすい情報の提供を図ります。

主要事業：○スポーツプロモーション事業

#### 2 スポーツ施設使用料の電子決済システムの導入

市民がいつでも、どこでも、手軽にスポーツ施設を予約できるようにするため、パソコン、スマートフォン、携帯電話などを活用した「公共施設予約・案内システム」のさらなる充実を図るとともに、市民の利便性が図れるよう順次キャッシュレス決済の導入を行います。

主要事業：○公共施設予約システム事業【再掲】  
○（新）電子決済システム導入事業

#### ◆指標◆

電子決済システム導入箇所数 (窓口)	現状値 (R3)	目標値 (R9)
	1箇所	7箇所

## 基本施策2 特色あるPR活動の推進

既存のPR方法を見直し、スポーツ環境におけるDXの推進による新たなPR方法を導入し、特色あるPR活動の推進に努め、発信力を強化します。

また、情報発信により、スポーツSDGsの普及啓発に努めます。

### 【取組内容】

#### 1 情報提供内容の充実

市民のニーズを把握しながら、健康・体力づくり事業やスポーツ大会・イベント・教室、スポーツ団体などに関する情報提供内容の充実を図るため、既存の情報発信媒体の利用の他、リモートによるスポーツ交流の場の提供を図ります。

さらに、市及び市スポーツ協会のホームページなどにおいて、市内で活躍するアスリートの情報やプロスポーツの観戦情報・施設情報などのコンテンツを充実させることで、本市の魅力度のアップを目指します。

主要事業：○オンラインスポーツ交流事業

### ◆指標◆

市民アスリート紹介事業における ホームページでの紹介人数【再掲】	現状値（R3）	目標値（R9）
	9人	35人

#### 2 スポーツSDGs（※1）の普及啓発

スポーツの力を活用して、2030年までの国際目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するため、SNSのハッシュタグ（※2）の利用等によりスポーツ庁が進める「スポーツSDGs」の普及啓発に努めます。

主要事業：○（新）スポーツSDGs普及啓発事業

（※1）スポーツSDGs…スポーツ庁が推奨する、SDGsの達成にスポーツで貢献していくというものであり、スポーツの持つ、人々を集める力や人々を巻き込む力を使って、SDGsの認知度を向上させ、ひいては社会におけるスポーツの価値のさらなる向上に取り組むもの。

（※2）ハッシュタグ…SNSなどへの投稿に付与される短い標識の一種。分類や対象、話題などを明示して他の利用者から探しやすくするためのもの。

# 資料編

## ■小学生による施設見学（屋内運動場）



# 1 スポーツ基本法 [平成 23 年 6 月 24 日制定、同年 8 月 24 日施行]

## ■目 的

「スポーツ振興法」（昭和 36 年制定）は、制定から 61 年が経過し、スポーツの状況が大きく変化していることから、「スポーツ基本法」が制定されました。

この法律は、スポーツに関し、基本理念を定め、国及び地方公共団体の責務並びにスポーツ団体等の努力等を明らかにするとともに、スポーツに関する施策の基本となる事項を定めることにより、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、国民の心身の健全な発達、明るく豊かな国民生活の形成、活力ある社会の実現及び国際社会の調和ある発展に寄与するものです。

## ■スポーツ基本法の構成

### 第 1 章 総則

- |               |               |
|---------------|---------------|
| 1 目 的         | 5 国民の参加・支援の促進 |
| 2 基本理念        | 6 関係者相互の連携・協働 |
| 3 国、地方公共団体の責務 | 7 法制上の措置      |
| 4 スポーツ団体の努力   |               |

### 第 2 章 スポーツ基本計画等

- |            |              |
|------------|--------------|
| 8 スポーツ基本計画 | 9 地方スポーツ推進計画 |
|------------|--------------|

### 第 3 章 基本的施策

- 10 スポーツの推進のための基礎的条件の整備等
- 11 多様なスポーツの機会の確保のための環境整備
- 12 競技水準の向上等

### 第 4 章 スポーツの推進に係る体制の整備

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| 13 スポーツ推進会議        | 15 スポーツ推進委員 |
| 14 地方自治体のスポーツ推進会議等 |             |

### 第 5 章 国の補助等

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 16 国の補助      | 18 審議会等への諮問等 |
| 17 地方公共団体の補助 |              |

### 附 則

- 19 スポーツに関する施策を総合的に推進するための行政組織の在り方の検討
- 20 経過措置

## 2 スポーツに関する市民意識

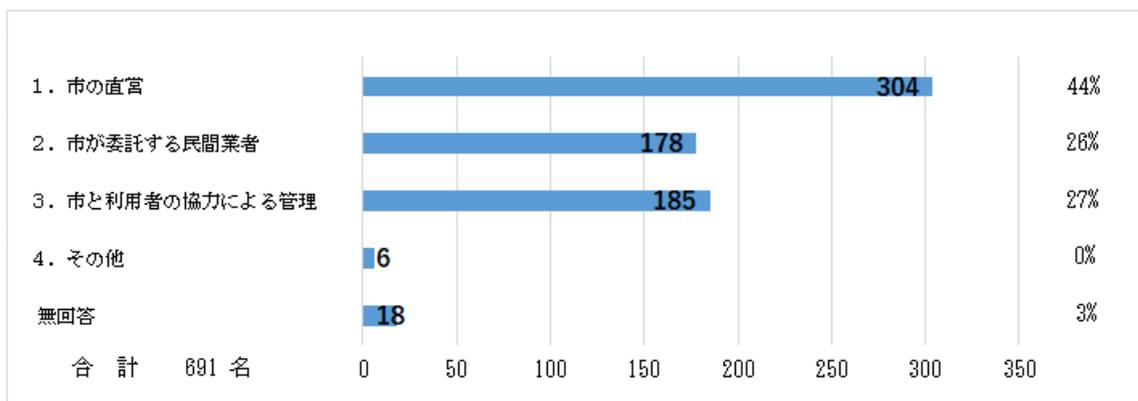
### ●スポーツに関する市民アンケート

本市スポーツ振興に係る令和5年度から令和9年度までの5年間の指針を策定するにあたり、令和3年度に「スポーツに関する市民アンケート調査」（調査対象：市内在住のスポーツ活動を行っている方、配布数：1,000人、回収率：69.1%）を実施しました。

その結果から得られたスポーツに関する市民意識は、次のように整理されます。

#### ① スポーツ施設について

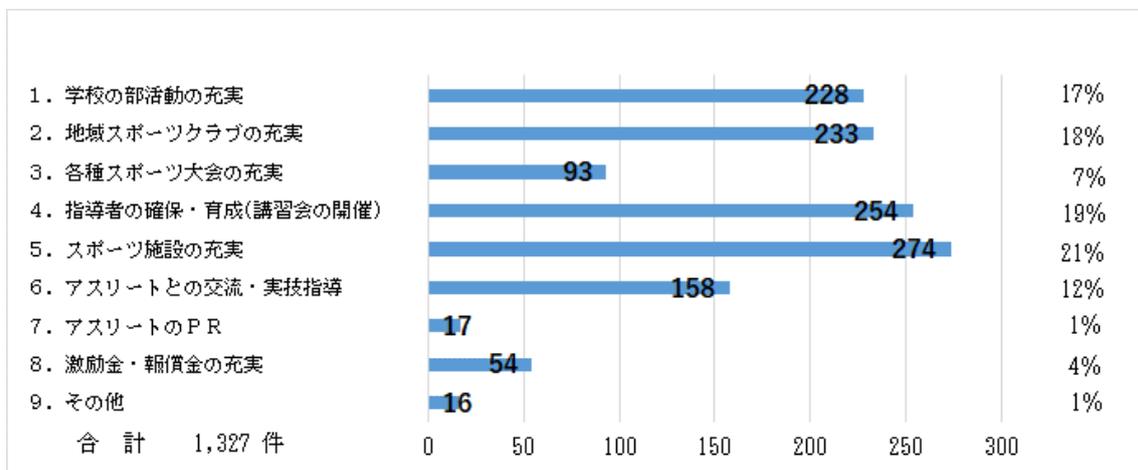
【問】本市が所有する施設の管理・運営方法は、今後どのような方法が最適だと思いますか。



○スポーツ施設の管理・運営方法については、「市の直営」が44%で最も多く、以下、「市と利用者の協力による管理」（27%）、「市が委託する民間業者」（26%）となっています。

#### ② アスリートの育成・指導について

【問】本市から、国内外で活躍するアスリートを育成していくためにどのような取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号を2つまでお選びください。

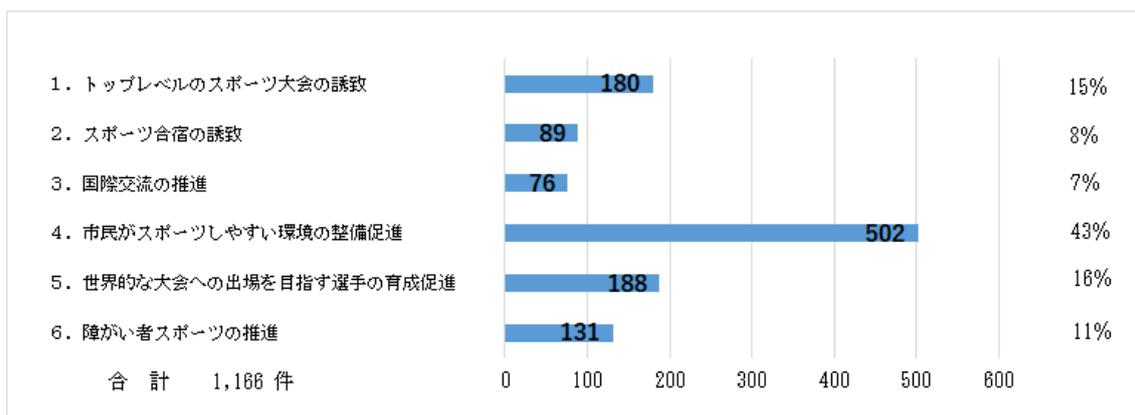


年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 学校の部活動の充実	116	8	23	25	9	14	28	5	228 件
2. 地域スポーツクラブの充実	46	20	30	36	24	38	34	5	233 件
3. 各種スポーツ大会の充実	42	4	7	5	6	9	18	2	93 件
4. 指導者の確保・育成 (講習会の開催)	59	14	12	37	24	58	45	5	254 件
5. スポーツ施設の充実	71	17	20	36	19	55	52	4	274 件
6. アスリートとの交流・実技指導	66	7	17	17	11	20	18	2	158 件
7. アスリートのPR	10	1	1	1	2	2	0	0	17 件
8. 激励金・報償金の充実	12	6	8	8	6	7	6	1	54 件
9. その他	1	0	1	12	1	0	1	0	16 件
合計	423	77	119	177	102	203	202	24	1,327 件

○国内外で活躍するアスリートの育成のために必要な取組については、「スポーツ施設の充実」が21%で最も多く、以下、「指導者の確保・育成」(19%)、「地域スポーツクラブの充実」(18%)、「学校の部活動の充実」(17%)、「アスリートとの交流・実技指導」(12%)となっています。

### ③ 「東京 2020 オリンピック・パラリンピック」、「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」について

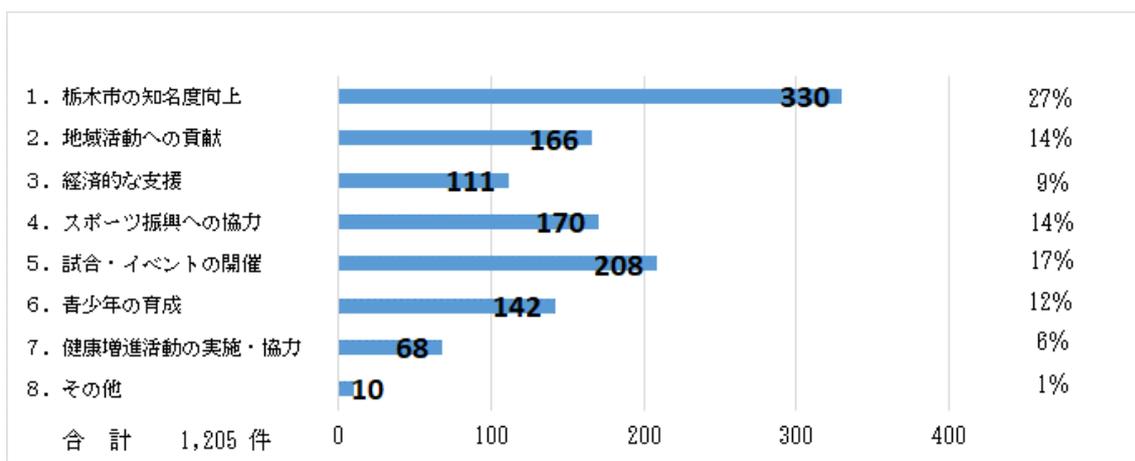
【問】 東京オリンピック・パラリンピックを経て、本市のスポーツに今後どのような取組が必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号を2つまでお選びください。



○東京 2020 オリンピック・パラリンピック後の本市のスポーツに必要な取組については、「市民がスポーツしやすい環境の整備促進」が43%で圧倒的に多く、以下、「世界的な大会への出場を目指す選手の育成促進」(16%)、「トップレベルのスポーツ大会の誘致」(15%)、「障がい者スポーツの推進」(11%)となっています。

#### ④ 本市のプロスポーツについて

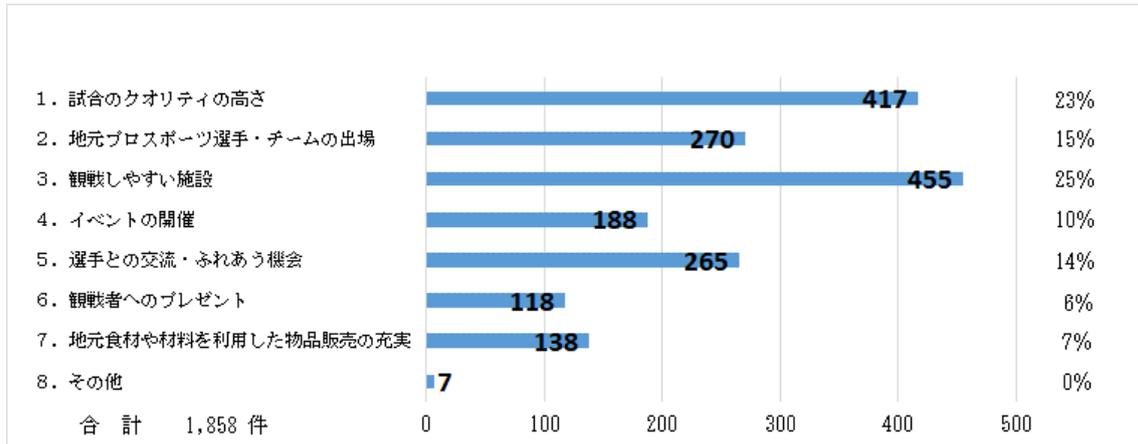
【問】本市では、サッカーの「栃木シティフットボールクラブ」、野球の「栃木ゴールデンブレーブス」、自転車の「宇都宮ブリッツェン」の3つのプロスポーツと連携しています。プロスポーツとの連携にどのような効果を期待しますか。次の中から当てはまる番号を2つまでお選びください。



年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 栃木市の知名度向上	134	13	20	30	25	50	52	6	330 件
2. 地域活動への貢献	21	13	18	27	23	27	33	4	166 件
3. 経済的な支援	21	11	14	20	13	19	12	1	111 件
4. スポーツ振興への協力	54	8	10	21	16	30	29	2	170 件
5. 試合・イベントの開催	87	11	19	26	12	30	22	1	208 件
6. 青少年の育成	40	6	10	25	11	17	29	4	142 件
7. 健康増進活動の実施・協力	18	4	1	6	4	17	16	2	68 件
8. その他	2	1	0	3	0	3	1	0	10 件
合計	377	67	92	158	104	193	194	20	1,205 件

○プロスポーツとの連携に期待する効果としては、「栃木市の知名度向上」が27%で最も多く、以下、「試合・イベントの開催」(17%)、「スポーツ振興への協力」(14%)、「地域活動への貢献」(14%)、「青少年の育成」(12%)、「経済的な支援」(9%)となっています。また、年代別においても、すべての年齢層において「栃木市の知名度向上」が最も多くなっています。

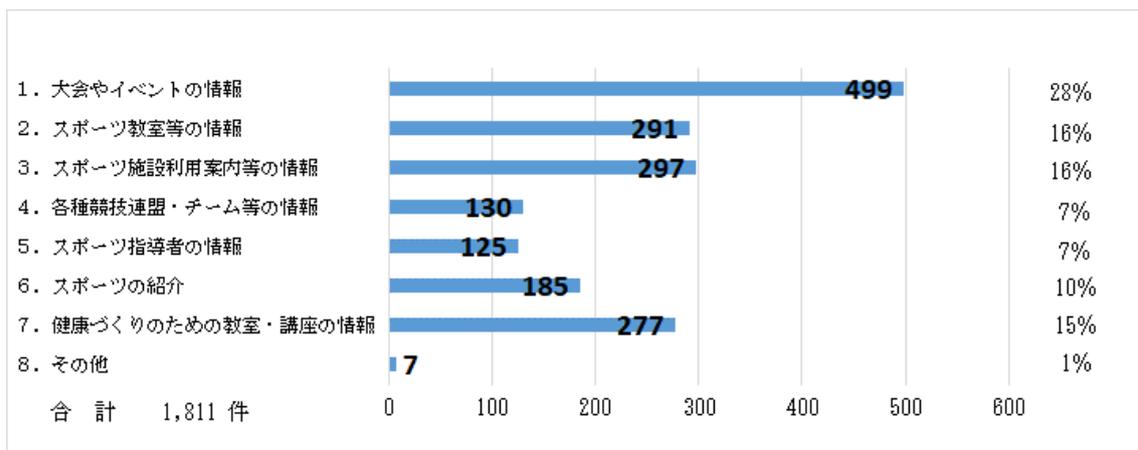
【問】 あなたは、スポーツ観戦の際どのようなことを期待しますか。次の中から当てはまる番号をすべてお選びください。



○スポーツ観戦の際に期待するものとしては、「観戦しやすい施設」が25%で最も多く、以下、「試合のクオリティの高さ」(23%)、「地元プロスポーツ選手・チームの出場」(15%)、「選手との交流・ふれあい機会」(14%)、「イベントの開催」(10%)、「地元食材や材料を利用した物品販売の充実」(7%)となっています。

### ⑤ スポーツ・運動に関する情報について

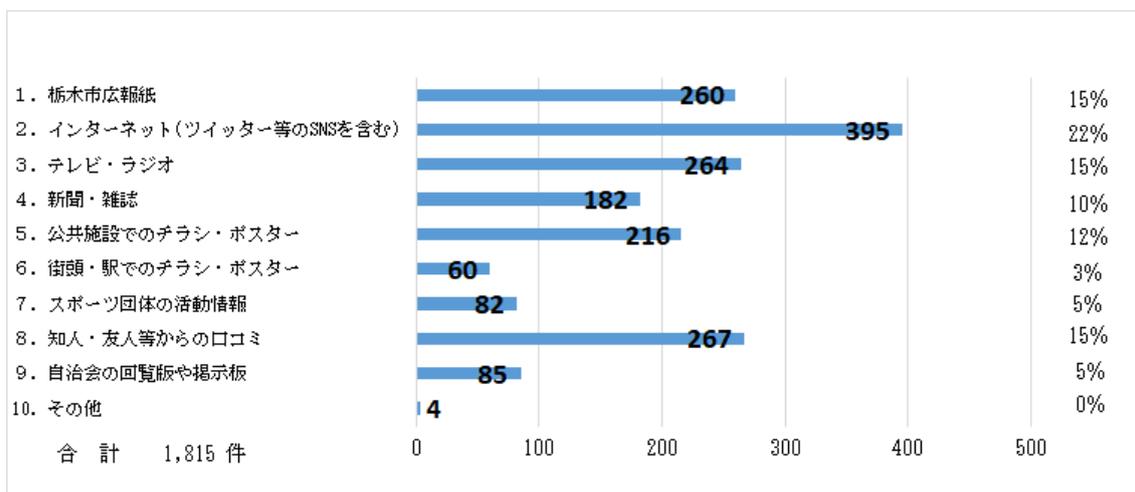
【問】 あなたは、本市のスポーツに関して、どのような情報を知りたいですか。次の中から当てはまる番号をすべてお選びください。



年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 大会やイベントの情報	212	26	43	53	38	58	62	7	499 件
2. スポーツ教室等の情報	65	17	24	47	22	61	49	6	291 件
3. スポーツ施設利用案内等の情報	63	21	35	43	25	52	52	6	297 件
4. 各種競技連盟・チーム等の情報	52	2	15	21	14	14	12	0	130 件
5. スポーツ指導者の情報	45	10	13	18	10	17	10	2	125 件
6. スポーツの紹介	69	9	14	25	10	30	25	3	185 件
7. 健康づくりのための教室・講座の情報	18	9	14	24	25	112	66	9	277 件
8. その他	0	1	3	0	1	0	2	0	7 件
合計	524	95	161	231	145	344	278	33	1,811 件

○本市のスポーツに関する知りたい情報については、「大会やイベントの情報」が28%で最も多く、以下、「スポーツ施設利用案内等の情報」(16%)、「スポーツ教室等の情報」(16%)、「健康づくりのための教室・講座の情報」(15%)となっています。

【問】 あなたは、スポーツ・運動に関する情報をどのように入手していますか。次の中から当てはまる番号をすべてお選びください。

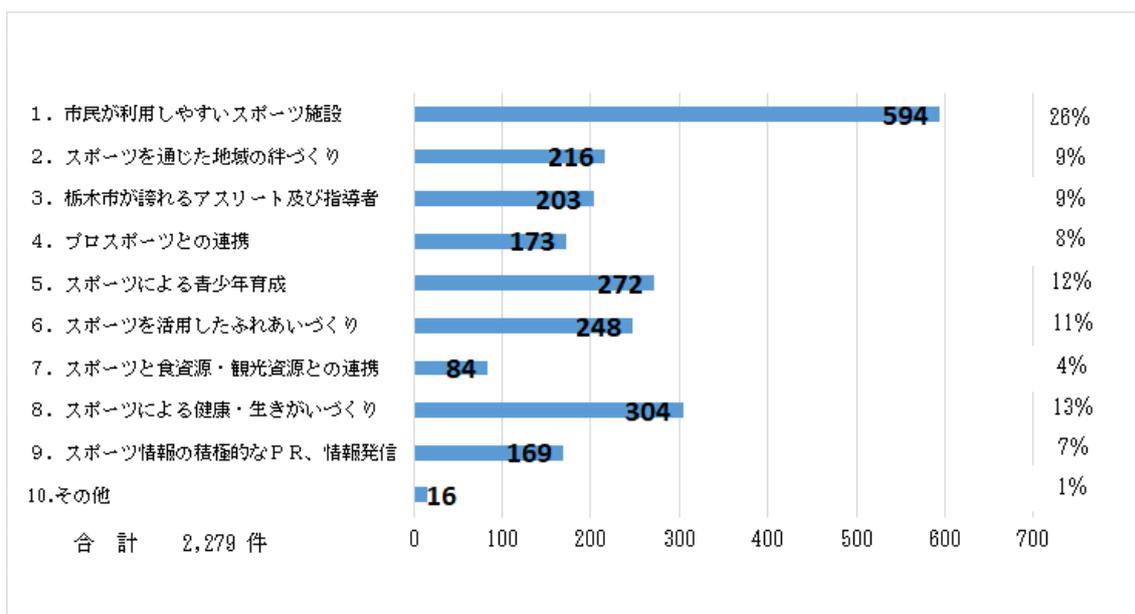


年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 栃木市広報紙	22	4	17	28	28	71	82	8	260 件
2. インターネット (ツイッター等のSNSを含む)	188	37	51	39	35	26	18	1	395 件
3. テレビ・ラジオ	119	18	17	16	14	32	41	7	264 件
4. 新聞・雑誌	50	7	14	12	19	36	40	4	182 件
5. 公共施設でのチラシ・ポスター	40	9	21	21	24	54	41	6	216 件
6. 街頭・駅でのチラシ・ポスター	30	3	2	7	7	4	7	0	60 件
7. スポーツ団体の活動情報	25	4	6	9	10	9	17	2	82 件
8. 知人・友人等からの口コミ	99	9	16	24	15	46	51	7	267 件
9. 自治会の回覧版や掲示板	8	2	5	6	8	25	30	1	85 件
10. その他	1	0	0	2	0	0	1	0	4 件
合計	582	93	149	164	160	303	328	36	1,815 件

○スポーツ情報の入手手段については、「インターネット」が 22%で最も多く、以下、「知人・友人等からの口コミ」(15%)、「テレビ・ラジオ」(15%)、「栃木市広報紙」(15%)、「公共施設でのチラシ・ポスター」(12%)、「新聞・雑誌」(10%)となっています。年齢の高い層では「広報紙」、「チラシ・ポスター」、「新聞」など紙媒体の割合が高くなっています。

## ⑥ 今後のスポーツ推進・施策について

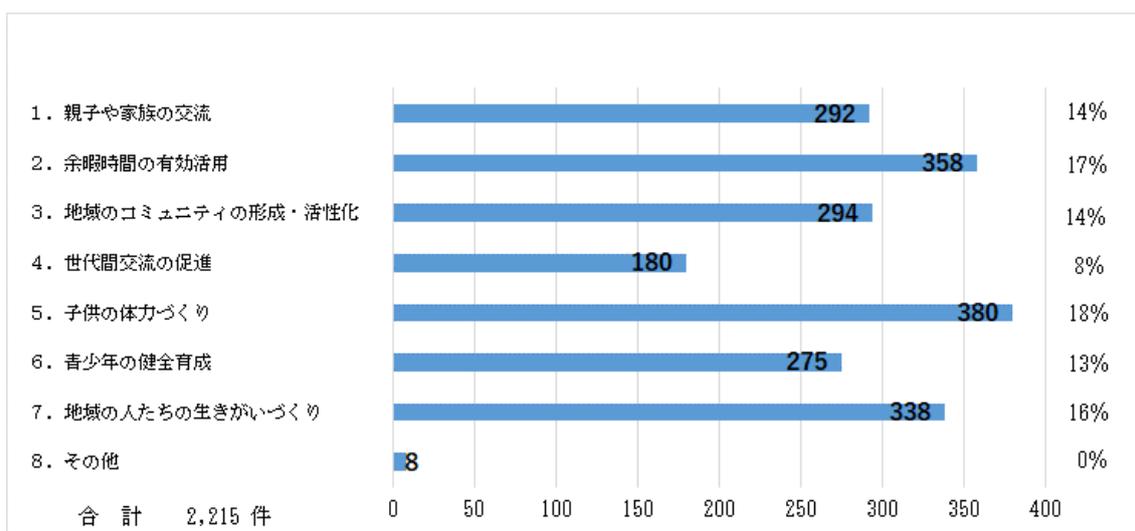
【問】 あなたは、本市のスポーツの振興を図るためには、どのような施策が必要だと思いますか。次の中から当てはまる番号をすべてお選びください。



年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 市民が利用しやすいスポーツ施設	166	45	62	74	47	89	101	10	594 件
2. スポーツを通じた地域の絆づくり	64	9	20	23	19	39	35	7	216 件
3. 栃木市が誇れるアスリート及び指導者の育成	59	9	13	33	26	33	29	1	203 件
4. プロスポーツとの連携	72	13	22	30	15	13	7	1	173 件
5. スポーツによる青少年育成	76	12	23	38	24	52	41	6	272 件
6. スポーツを活用したふれあいづくり	83	12	20	15	22	41	48	7	248 件
7. スポーツと食資源・観光資源との連携	20	4	8	14	7	17	13	1	84 件
8. スポーツによる健康・いきがづくり	73	10	12	25	29	74	72	9	304 件
9. スポーツ情報の積極的なPR、情報発信	55	10	11	15	13	35	27	3	169 件
10. その他	0	1	2	4	6	2	1	0	16 件
合計	668	125	193	271	208	395	374	45	2,279 件

○本市に必要な施策については、「市民が利用しやすいスポーツ施設」が 26%で最も多く、以下、「スポーツによる健康・生きがづくり」(13%)、「スポーツによる青少年育成」(11%)、「スポーツを活用したふれあいづくり」(11%)、「スポーツを通じた地域の絆づくり」(9%)、「栃木市が誇れるアスリート及び指導者」(9%)、「プロスポーツとの連携」(8%)となっています。

【問】 あなたは、地域におけるスポーツの振興に、どのような効果を期待しますか。  
次の中から当てはまる番号をすべてお選びください。



年代別	18歳未満	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計
1. 親子や家族の交流	111	15	37	33	20	41	31	4	292 件
2. 余暇時間の有効活用	91	25	27	35	34	63	74	9	358 件
3. 地域のコミュニティの形成・活性化	65	13	28	36	32	60	53	7	294 件
4. 世代間交流の促進	31	12	13	22	20	41	36	5	180 件
5. 子供の体力づくり	147	17	39	59	26	46	41	5	380 件
6. 青少年の健全育成	61	25	25	41	26	51	41	5	275 件
7. 地域の人たちの生きがいづくり	81	12	25	30	33	77	72	8	338 件
8. その他	4	0	0	0	0	2	2	0	8 件
合計	591	119	194	256	191	381	350	43	2,125 件

○期待する効果については、「子供の体力づくり」が 18%で最も多く、以下、「余暇時間の有効活用」(17%)、「地域の人たちの生きがいづくり」(16%)、「地域のコミュニティの形成・活性化」(14%)、「親子や家族の交流」(14%)、「青少年の健全育成」(13%)となっており、年代が上がるほど、「地域の人たちの生きがいづくり」が高くなっています。

### 3 市内公共スポーツ施設の状況

#### ●市内の公共スポーツ施設一覧（栃木・大平・藤岡地域）

	No	施設名	所在	面積(m <sup>2</sup> )
栃木地域	1	栃木市総合運動公園	川原田町760	369,000.0
	2	栃木市弓道場	万町25-16	76.0
	3	栃木市剣道場	万町25-13	163.7
	4	栃木市皆川東宮運動場	皆川城内町925-2	14,889.0
	5	栃木市柳原河川敷運動場	柳原町294-6	12,608.0
	6	栃木市尻内河川敷運動場	尻内町357	5,950.0
	7	栃木市屋内運動場	泉川町467-1	7,875.0
	8	大塚運動広場	大塚町1233	15,942.9
	9	大宮運動広場	今泉町1-16	15,257.0
	10	栃木市城内ニュースポーツ広場	城内町2-118-1	12,648.0
	11	栃木市勤労者体育センター	日ノ出町14-36	682.0
大平地域	12	大平運動公園	大平町蔵井1547	103,600.0
	13	栃木市大平体育館	大平町蔵井2001-3	1,779.0
	14	栃木市大平南体育館	大平町西野田905-1	1,162.0
	15	栃木市大平武道館	大平町蔵井2001-1	842.0
	16	上下高島・真弓地域のひろば	大平町上高島136-1	9,017.0
	17	新・西野田地域のひろば	大平町新928-1	5,870.0
	18	北武井地域のひろば	大平町北武井524	8,431.0
	19	川連・土与・蔵井・牛久上牛久地域のひろば	大平町川連220	7,900.0
	20	伯仲地域のひろば	大平町伯仲2992-1	12,099.0
	21	富田北地域のひろば	大平町富田2010	7,025.0
	22	西山田地域のひろば	大平町西山田943	8,465.0
	23	かかしの里	大平町西山田1738	7,585.0
藤岡地域	24	藤岡渡良瀬運動公園	藤岡町藤岡地先	283,249.0
	25	栃木市藤岡総合体育館	藤岡町藤岡1788	3,334.0
	26	栃木市藤岡弓道場	藤岡町藤岡1788	236.0
	27	栃木市三鴨スポーツ広場	藤岡町甲2816	5,319.0



## ●市内の公共スポーツ施設一覧（都賀・西方・岩舟地域）

	No	施設名	所在	面積(m <sup>2</sup> )
都賀地域	28	栃木市つがスポーツ公園運動場	都賀町家中4785-3	112,945.0
	29	栃木市都賀南部コミュニティセンター	都賀町平川481-5	9,064.0
	30	栃木市木コミュニティセンター	都賀町木818	7,677.0
	31	栃木市赤津スポーツ広場	都賀町大柿3035-8	14,000.0
	32	栃木市赤津ターゲットバードゴルフコース	都賀町大橋874	14,393.0
	33	栃木市大柿コミュニティセンター	都賀町大柿1122	517.0
	34	栃木市都賀体育センター	都賀町原宿511	1,000.0
	35	栃木市都賀市民運動場	都賀町原宿507-1	15,537.0
西方地域	36	栃木市西方総合文化体育館	西方町本郷1705-1	4,777.0
	37	栃木市西方桜グラウンド	西方町金崎706-1	8,636.0
	38	栃木市西方北グラウンド	西方町金崎1107-2	14,878.0
	39	栃木市西方南グラウンド	西方町金井1796-3	11,250.0
	40	栃木市真名子運動広場	西方町真名子1722	11,700.0
	41	西方総合公園	西方町本城1542	20,068.0
岩舟地域	42	岩舟総合運動公園	岩舟町三谷1038-1	207,451.0
	43	栃木市岩舟総合運動場	岩舟町静2292-1	16,896.0
	44	栃木市岩舟農村環境改善センター	岩舟町下津原1572-1	998.0

主な利用競技等
野球、サッカー、テニス、ソフトボール、陸上、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ターゲット・バードゴルフ
野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、バスケットボール、バドミントン、卓球
野球、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、バスケットボール、バドミントン
野球、ソフトボール
ターゲット・バードゴルフ
ゲートボール、バレーボール、剣道
バレーボール、バスケットボール、バドミントン
野球、ソフトボール、サッカー
バレーボール、バスケットボール、バドミントン、トレーニング室
野球、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
野球、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ
野球、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ
野球、サッカー、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ
野球、テニス、ソフトボール、グラウンド・ゴルフ
ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ターゲット・バードゴルフ
野球、サッカー、テニス、ソフトボール、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、バレーボール、バドミントン、卓球
バドミントン、バレーボール、卓球、空手

■ 栃木市総合運動公園（プール）



■ 栃木市大平武道館（柔道場）



■ 栃木市藤岡弓道場



■ 栃木市赤津ターゲットバードゴルフコース



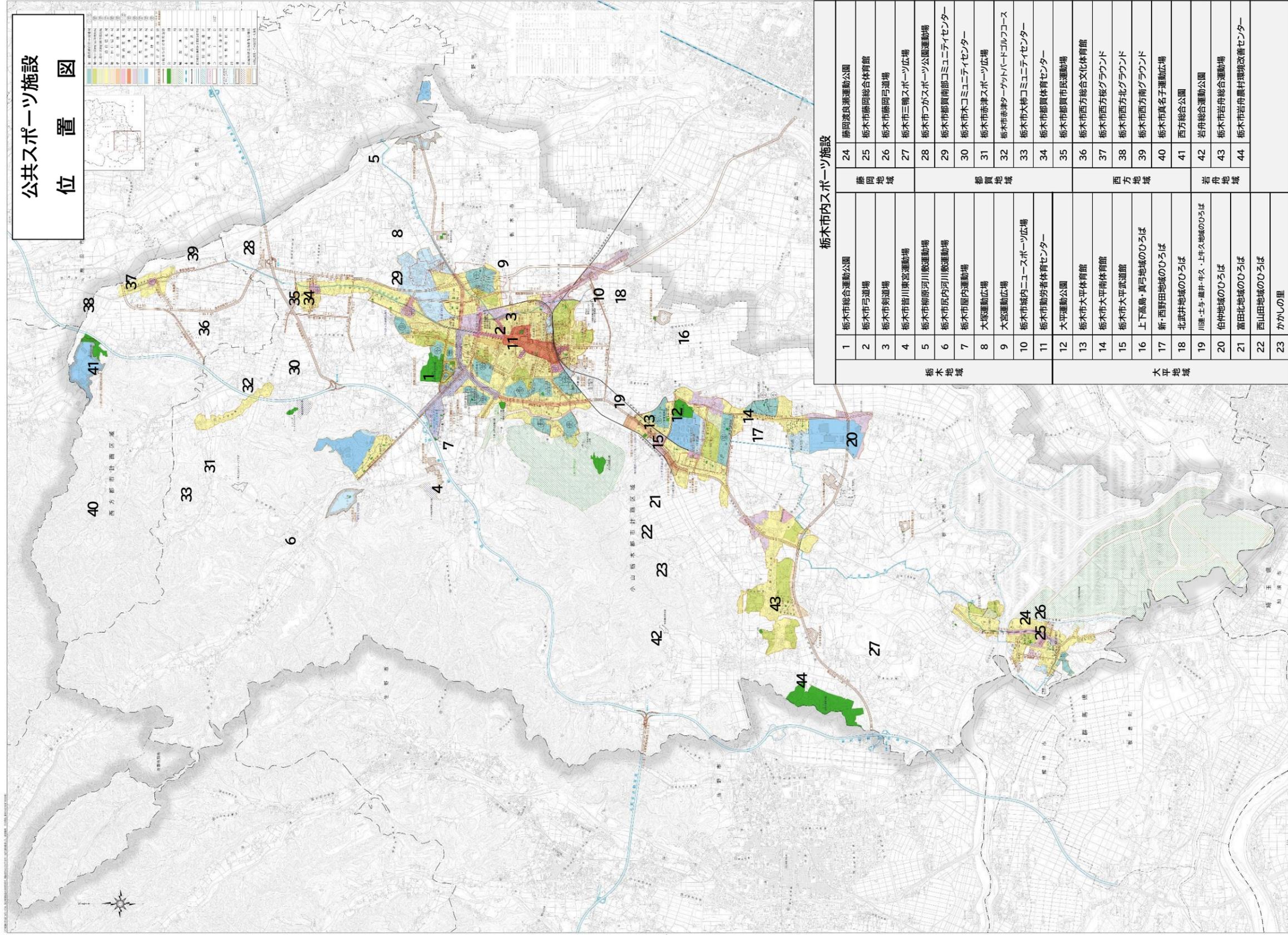
■ 栃木市西方総合文化体育館



■ 栃木市屋内運動場



# 公共スポーツ施設 位置図



栃木市内スポーツ施設

施設番号	施設名称	地域
1	栃木市総合運動公園	栃木地域
2	栃木市弓道場	栃木地域
3	栃木市釣道場	栃木地域
4	栃木市普川東宮運動場	栃木地域
5	栃木市柳原河川敷運動場	栃木地域
6	栃木市尻内河川敷運動場	栃木地域
7	栃木市屋内運動場	栃木地域
8	大塚運動広場	大平地域
9	大宮運動広場	大平地域
10	栃木市城内ニュースポーツ広場	大平地域
11	栃木市勤労者体育センター	大平地域
12	大平運動公園	大平地域
13	栃木市大平体育館	大平地域
14	栃木市大平南体育館	大平地域
15	栃木市大平武道館	大平地域
16	上下高島・真弓地域のひろば	大平地域
17	新・西野田地域のひろば	大平地域
18	北武井地域のひろば	大平地域
19	川連・工与・藤井・牛久・上平久地域のひろば	大平地域
20	伯仲地域のひろば	大平地域
21	高田北地域のひろば	大平地域
22	西山田地域のひろば	大平地域
23	かかしの里	大平地域
24	藤岡渡良瀬運動公園	藤岡地域
25	栃木市藤岡総合体育館	藤岡地域
26	栃木市藤岡弓道場	藤岡地域
27	栃木市三鴨スポーツ広場	藤岡地域
28	栃木市つかさスポーツ公園運動場	藤岡地域
29	栃木市都賀南都コミュニティセンター	都賀地域
30	栃木市コミュニティセンター	都賀地域
31	栃木市赤津スポーツ広場	都賀地域
32	栃木市赤津ターケットバードゴルフコース	都賀地域
33	栃木市大柵コミュニティセンター	都賀地域
34	栃木市都賀体育センター	都賀地域
35	栃木市都賀市民運動場	都賀地域
36	栃木市西方総合文化体育館	西方地域
37	栃木市西方桜グラウンド	西方地域
38	栃木市西方北グラウンド	西方地域
39	栃木市西方南グラウンド	西方地域
40	栃木市真名子運動広場	西方地域
41	西方総合公園	西方地域
42	岩舟総合運動公園	岩舟地域
43	栃木市岩舟総合運動場	岩舟地域
44	栃木市岩舟農村環境改善センター	岩舟地域

## 4 策定経過

### ■第2期栃木市スポーツマスタープラン策定経過

実施日	会議名
令和3年 7月 27日	庁議
令和3年 8月 20日	議会説明
令和3年 10月 28日	栃木市スポーツ推進審議会（令和3年度第1回）
令和3年 12月	スポーツに関する市民アンケート調査
令和4年 3月	栃木市スポーツ推進審議会（令和3年度第2回：書面会議）
令和4年 10月 18日	栃木市スポーツ推進審議会（令和4年度第1回）
令和4年 11月 10日	庁議
令和4年 11月 25日	議員研究会
令和4年 12月 9日～ 令和5年 1月 10日	パブリックコメント
令和5年 3月	第2期栃木市スポーツマスタープラン策定

### ■栃木市スポーツ推進審議会

役職	氏名	備考
会長	衣川 隆	学識経験者
副会長	塩田 裕子	教育関係者 国府南小学校長
委員	新井 恵美	学識経験者
委員	野口 郁子	学識経験者
委員	秋山 光江	学識経験者
委員	早乙女 正美	学識経験者
委員	広田 一男	学識経験者
委員	溝井 代次	学識経験者
委員	大塚 孝司朗	学識経験者
委員	恩田 孝子	公募委員
委員	福田 智	公募委員
委員	北條 誠	教育関係者 吹上中学校長

## 第2期栃木市スポーツマスタープラン

令和5（2023）年度～令和9（2027）年度

発行日●令和5年3月

発行●栃木市

編集●地域振興部市民スポーツ課

〒328-8686

栃木県栃木市万町9番25号

TEL：0282-25-0930

Email: [sports@city.tochigi.lg.jp](mailto:sports@city.tochigi.lg.jp)